動間、更に二日 年後三時代 日子後三時代

で巧妙に解散を回避して設 ・で巧妙に解散を回避して設 ・で巧妙に解散を回避して設 ・で巧妙に解散を回避して設 ・で巧妙に解散を回避して設

*、農村地方商工業教養並 提案として政民兩篇に担

刊致しますから御諒承願ひます

來る四日は舊曆元旦に相當しますの

人從業員に給暇のため恒例により休

政府の意向

(東京國通) 國民同盟では今 と提出する事となり、一日午 を提出する事となり、一日午 を提出する事となり、一日午 を連出する事となり、一日午

共同提案提議さ

で 二日午前九時町田總裁を訪問 (東京関通) 共同提案に関し

何等反對すべき

参議賞金凱氏が二月一日付で 録員中の尚書府大臣は参議府

暗に反對表明

後八時衆議院議長應接室に町裁は俄に豫定を變更、一日午

(B

果を競夷した、右の内日本闘 行政院の常議を經て交渉の結 行政院の常議を經て交渉の結

還し、千廿二萬圓の元金を單 第である、舟同案は近く中央部より七萬元を元金として償 ひ民國廿七年に皆濟し得る計依れば前者に就ては毎月交通 より八萬元を元利として支拂

行政會議の通過

保のものは保の智識を紹

地方財政救濟法律案

國同から提出か

政民兩黨にも援助を懇請

、萬一政府並に各黨に一蹴がある事で、第一政府並に各黨に一蹴がある。本事あらば、既成政黨の関盟を改め、又若し所謂の関盟を改め、又若し所謂として選の正面衝突となり、議會會の正面衝突となり、議會を控入て出で、非常時局を控入て出で、非常時局を控入て出で、非常時局を控入て出で、非常時局を控入て出で、非常時局を控入て近らに多數を賴んで政府をして政友會の構暴を、鼓を関係して政め立てると共に対の方式を表示。

受容れ難いと爲して居る

鈴

鈴木政友總裁は 總裁語る 考へる、執れ黨の機關にかけ慣重

否へ暗に反對を

し政局に微妙な空氣の漂つて る 居る際とで頗る注目されて居

會 畝擴張六年計畫を進めつゝあ は硫暢な英語で を 19に得べく實質的日支親善は 四十分山海關發北平行直通列 を 19に得べく實質的日支親善は 四十分山海關發北平行直通列 を 19に得べく實質的日支親善は 四十分山海關發北平行直通列 を 19に得べく質質的日支親善は 四十分山海關發北平行直通列 を 19に開発した小包は午後十時 で 19に得べく質質的日支親善は 四十分山海關發北平行直通列 を 19に開発した小包は午後十時 で 19に開発した小包は午後十時 で 19に開発した小包は午後十時 で 19に開発した小包は午後十時 で 19に開発した小包は無かつ を 19に開発した小包は無かつ を 19に開発した小包は無かつ を 19に開発した小包は無かっ を 19に開発した小包は無かっ を 19に関係を 19に関係を 19に対した 19

聞

青島ではなほ

大灘會議

支那側樂觀

滿支通郵不徹底

みで支那側よりも何等具体的援助協力を懇請した事實は無かつた、然し乍ら蔣午後外務省に公電が到着したが、兩度の會談にあつて日支協調につき隔意なき意見を交換したの【東京國通】二十九日、三十日に於る我が駐支公使と汪精爾、蔣介石氏との會見內容は有吉公使の上海歸任の上一日

を靜觀する事とし有吉公使には何等の訓令をも發せざる方針である

我が紡績業界の

経済會議提唱と

政府政友の對立愈

議會極度に

に緊張せん

0

支那棉買付計畫

日支關係好轉の原因こならん

た事は日支外交上劃期的收獲であった、帝國政府としては支那が親日に轉向せるを多としその質績

石氏が孫文の遺志を奉じて日支合作親善の實現を期し大亞細亞主義を强調し

四月

日衆議院

女八人感激時代 ==

課撞球場

最後の切れ

未湿大排 下 林 取 類子子

御希望の方は左記へ來談あれ 一下台店

豫算總會

は東京國通)岡本一已君先づ 軍備質の斷じて過大ならざる 所以を力設して 所以を力設して 所以を力設して

岡本君 政友會は爆弾動議で一億萬圓を要求したが今日では一千萬圓でもよいと言つてると、からる根據海 弱なる要求の後時末に對して関僚の或一人が妥協工作につとめてゐると聞くがその事實如何 もまだ

ひをする柄ぢやないよ

と、云った。

はないよ。第一、億了、艦の便

のことを深く想ひ込んであて、

うこゝ

しばらくは

日轉向の實績を辭觀

有吉、蔣兩氏會見ご我外務省の意嚮

親善工作の訓電は發せず

日支合作親善の發展性

間の通貨爲香關係の複雑して お着操短率を決定する紡績聯 とになれば現在のやらに各國 合會委員會は一日午後一時半 聯合曾委員會は綿業界の趨とになれば現在のやらに各國 合會委員會は一日午後一時半 聯合曾委員會は綿業界の趨とになれば現在のやらに各國 (大阪綱通) 探算割れから注 四晝夜休業悪準一割六分二厘によって通商障碍を除去し得 (大阪綱通) 探算割れから注 四晝夜休業悪準一割六分二厘によって通商障碍を除去し得 (大阪綱通) 探算割れから注 四晝夜休業悪準一割六分二厘によって通商障碍を除去し得 (大阪綱通) 探算割れから注 四晝夜休業悪準一割六分二厘によって通商障碍を除去し得 (大阪綱通) 探算割れから注 四晝夜休業悪準一割六分二厘によって通商障碍を除去して

た結果、左の如く五分擴張の大阪綿業會館に閉営、後想通

その

B

態のとりもちをするやつがある

そしいにも

いま窓川子の職んであた小殿がでかったりだった。頭ひとりの男が政友を いたやうな物語と

「細免職るさ。おい考へて見ろ

嘉弘は、吐き出すやくに

なのうへから腹をはなして、 を、佐々木に懸はれて、 京郷 が適か、ドライヴしたことを思

エスヤ洋服店 新京青野町銀座

限りある人生『

夏川 静江作

兄

どこの國に兄貴が、妹の

しては根較べが必要の好適例き解決の曙光見ゆ、支那に對

五分増加を實行すること現行操短率の他に更に休止現行操短率の他に更に休止現合無力・月間が監み昭和十年四月一日勝合質委員會は錦業界の趨勝合質委員會は錦業界の趨 義人村上氏解職のデマ観れ飛 騰寫版

見だらうが、こつちや演劇にな

「へえ」 そりやア君の方は風

もできずにあるのだった。

を認めながらる、どうすること

會場としては木ールを商品見水展示の商品見水展示の

れないよ。まあ、結婚媒介配へ

兄さん、茶化さないでよ。あってゐる職業婦人だつた。前になれないよ。まあ、結婚媒介脱へ であり、女は、やつばり豪世子れないよ。まあ、結婚媒介脱へ であり、女は、やつばり豪世子のからに、あるデバートにฃめ

TIP

三浦新闻舖、

御利用願います

あたし原敷なのよ

なんちゃないわ。ね、見さん。

「態の、とりもちなんて、そん

け晒したりしてあるのだったが 好には、既に、お顔の難した愛 人があるために、熟心な野の無

女房具 祝町三自四 大氣堂 の作用命は 及附屬品

電話二四二五番

東書にて左記に申込み下さい 小荷物の蒐集 人 、 京 に 野 強 い 一 、 一 、 一 、 同 到 着 驛 留 小 荷 物 代 理 引 取 及 配 達 及 代 理 託 送

中央班十一番地

一、が行民澤後全手物、小時勿り惹長ら御利用願ひます

ざいます (間中込は小荷物扱所/趾内二四五番)にされても 電影

財界は其趣旨に贊成し會議の一の院内外總務會で愈々二日の一たしめて爆彈動議清算の口火一の質問に對し政府が依然とし經濟會議提唱に對し日本民間(「東京國通)政友會は一日夜「豫算總會劈頭島田俊雄氏を起」を切る事になつたが、島田氏「東京國通」ハル長官の世界

支那の電信借欵整理案

と言ふが如き曖昧な態度を持ちなしと言ふ。強硬電見が南大有力になっては正面衝突亦已も一職敢て辭すところに非ずとの强硬意見が南大にも一職敢て辭すところに非ずとの强硬意見が漸大有力とない。 が研究もの

新京景氣もどう 自動車を持つて來た男あり、 宿料のひきあてに盗んで来た 瀬州國では戀愛をすると懲役 ころの事を忘れたとみへる

簡層あす だ舊態の滿洲たり 子、打牌に興ずる未大晦日、數日を吃好

東亞興業、中日實業のこげつき

氏の發言に依つて如何なる發で來た爆彈動議後始末をめぐ るから再開以來睨合ひを續け制せんとして 居る 閣僚 もあ

なすものとして重大視され**こ** 展を示すか解散非解散の鍵を 南司令官歸京 他を隨へ二日午後五時三十分新京着あじあ祖中の南闢東軍司令官は西尾縁謀長、鹽原

政局は重大化するであらう 緊張味を漲らす事となるべく 事往來

袁金凱氏任命

やうにして、

尚書府大臣

ひらしいのよう しいか あの

の対の・

「古いつてわけぢゃないわ。あ 「へえ、そいつアいま時珍らし 「もう知ったよ。とにかく 君

舊曆元旦休刋

その夜、幅かの小説が 時機を見て、何とか一つ、僕かが、それほどに想つてるんなら と、嘉弘は、初めて、

遭していつた貯蔵のとは、田が父になってこ

たし、どうしても、盛田さんで なくつちやす

であは、1、どこまでも早前ち であば、1、どこまでも早前ち であないか。つまり直接機関で、 な わざと、椅子ごと背後へ作れる こうしてやがると たのが失敗の間で、家産を傾けていやがつてのかい?ちつ、は 気があつて株や相場に手を用しなくつちやア………… のだつたが、其父といふのが山 脱へ、母の私い思ひがつよいた すつかり響落してしまひ、女は

が、ここまで置んできて、影世であると、 があり、そして、小説で らどう残骸して行くか分らない。 筋だつた。この小骸が、これか かにその日を殺つてゐるといふ 周旋したり、或ひは、借金の取りで、他人の地所来屋の饗買を 女の家庭も相當な生活をしたも つひにデバートづとめをするや うになり、そして、その父は、 業

内地へのお土産には M.C.C. ロ 五十本人 各國全 店草煙名有



東二條節五二條節五二 丁目卅一

內科、 外科。 花柳病科

かっそんなことは

產婦人科、耳鼻咽喉科



かった 東で、学を形は 馬路の如きは正 馬路の如きは正 馬路の如きは正 大泥雑、、

け縁喜を祝ひ、正月を迎へ を離した「春聯」を帖りつ を記した「春聯」を帖りつ

数も減り却つて不便を終ず になるやうな馬車人力車の になるやうな馬車人力車の

ア吃好的、

逛窰子、

9

3

ころもある、春を待ちかね

吃好的、 子、打牌つき 人の遊廓方面だけであらる

ア敷割の

申

は

竹に行人を驚かしてゐる、 の眼をぬすんで引揚げる爆

満人の正月は近寄つて來た を**築しみにしてゐる階級の** をひやかし、博奕をやるの

りらまいものを喰ひ、遊廓

吉林御巡

ごうぞ赤裸

だらうツておつしやるのね

部部

夕 管なる身元保證のある方 管なる身元保證のある方

後から文句の出ない

やう

ならないんですもの、

メイヤ街

米を査

西

村

右希望者は履歷書持多本人御來店下さい 面會午前中

公費係か

あといふ騒ぎ、附屬地の新るといふ騒ぎ、附屬地の新るといふ騒ぎ、附屬地の新るとれなくな

注目さる 、 商議代表協議會

勢によつてはこの最後の 切れ を出すのではな は今後に残された大きな問題 で不幸かゝる時に直面した際 意見もあつたやうで今後の情不可能なことではないかとの 方に腱し、深刻なる賢察果斷を添付し連署の上此段及請願する所以に御座候之が理由として別册「滿洲に於ける消費組合問題の檢討」一部の場合、深刻なる賢察果斷 方に關し、深刻なる賢察果斷 市民有志總代として、速に之 市民有志總代として、速に之

日

第二段工作においても依然さ

識をもつて消費組合の全面的

全満商工會議所聯合會の決

一部においては品種の制限に とになつた模様である、然し撤廢に向つて運動を續けるこ

のとみられてゐる

はこれ

だり自動車を

氣で豪遊中を捕はる

ない 行事 で 教り行はる かい 不る四日の節分 から行はる かい 新京神 に 富り、新京神 に 富り、新京神 に 富り に 大 一 で 教り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま かい こ ま と し に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま し ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま り に ま

月月日日 類 7 入出入出 調 6 後前後前最高。 四六四六等下

御一見をあらず

どうぞよろしく

1

粋も不辞も…… 辞者でⅠ

三国町と丁目

新京神社

第は左の通りで

茨城縣人

へに告ぐ

解

雇

告

滿要路訪問

消組撤廢請願書を手交

機でもあり官民抗争を續ける意見の交換を行つた新京の各有志は今は建國大業の重大時有志は今は建國大業の重大時

微腰されたいとの意見が一致 端根である消費組合はこの際

財民區町內會有志總代 明日區町內會有志總代 中央區町內會有志總代 中央區町內會有志總代 中央區町內會有志總代 山下 藤黻 山下 藤黻 中央區町內會有志總代

取されてゐるを社員が競見しの間住吉町滿洲製油會社所有の間住吉町滿洲製油會社所有の一九三三年型貨物自動車がの一九三三年型貨物自動車がの間社會ない。

るを發見本署に引致取調べを通力フェー満洲で遊興してゐ

説が傳はるは怪訝に堪えな祈つてゐた矢先かゝる解職

あつけに

東亞旅館の

が が はないであらう。 同氏の ではないであらう。 同氏の ではないであらう。 同氏の のもの ではないであらう。 同氏の のもの

o n

てぬるが、吉林省

國都建設局の

鐵道軍また快勝

中 込 ニ月六日正午迄日本橋通七十九 合せ奮つて御出席を乞ふ 曾 費 簡會員(三圓)及普通會費未納の分當日持多 明 日 ニ月七日午后五時 場 所 富士町ニ丁目ニナス番地割烹新京 場 所 富士町ニ丁目ニナス番地割烹新京

右之者今般解傭致し今後弊店とは關係無之に付爲念謹告仕候 第二十三歳 第二十三歳

爲め金は

支拂つてない又俸

これが撤廢方を陳情したといい、日本ので二日小澤、四月の兩日には有志を代表し日滿各要路には有志を代表し日滿各要路には有志を代表し日滿各要路には有志を行る。

城內居留民會有

反消運動をよそに

直に新京署に超出たので同署では井上刑事が捜査の結果同自動車が朝日通東亜ホテルに 運搬されてゐるので同家につき取調べると昨年九月から十二月末日まで投宿してゐた自 構奉天十間房大昌洋行店員木村竹四郎(二八)同赤沼千代

木村、赤沼雨氏は昨年九月から十二月末日まで投宿してゐましたがその宿料金四百圓が未拂で度々請求して

して來て會社の自動車であ時二人で貨物自動車を運轉

市内吉野町一丁目二十三番地 中山婦人服店では來る十一日 市内吉野町一丁目二十三番地

人服店で

て譽會されたしと▲會場ダイを開催するが、縁故者は奮つ

=

Ę

日

二月二、三日 午后六時より | 新京拳闘協會

新京記念公會堂

發會記念試合

東亜ホテルでは語る

中の療治恤金に該當せ

州國では同氏の義既に送金濟みであ

大同公園リンクで局内滑氷大國都建設局では二日正午から

新京鐡道軍大勝したの身球試合は三十一日午後四の身球試合は三十一日午後四時から室町小學校で開催七對

茨城縣人會事務所

・廣告の御用は

電三三〇〇番へ

準備着々成る●

小も漏さぬ

中午後六時ごろ爾名が東四條 明したので同刑事が極力捜査 明したので同刑事が極力捜査

號七十百三千四第

りつめた氣勢に一息入れたか層年末に差かかつて、一時張

消費組合の撤廢に闘する請願消費組合の撤廢に闘する請願、官吏

書を手交する等

としては、終始一向に變らぬので、今殊更にどうこうぬので、今殊更にどうこう 申すやうなこともないし、 早ひたすらに初志の賃徹に 再上ぐるより外にありません、これ本部の方の店開き も御覧の通りまだ恐縮最中

義人村上氏解職說

高野山の星祭り は午後七時前座修法、同八時は午後七時前座修法、同八時は午後七時前座修法、同八時 後軍護滕供修法、同八時 前五日午前六時にお日待大事の修法がありっ修法がありっ修法がありっ修法があるから一般の参贈

が、草花等を書きいく

高女學藝會 新京高等

公會堂集會

滿露選手對抗大試

御出席歡迎!

三日(日曜日)朝六時四十分より西公協職忠碑前にてより西公協職忠碑前にて

けふの銀相場

學生軍人警官半額

主

新京拳

闘協

鈔票對 國際對 國際票 對

に理

C 發賣致.

食工堂!

後援

斯 大事務所社會係 社會係

新京日日新聞社

日の出を拜する

▲三日晝間放送局主催こども 大會(同)放送結集會(第 大會(同)放送結集會(第 四談話室)午後一時鮮級集 會(娛樂室)

故者會

全くのデマ

噂を遺憾とする満洲國人事處

一二日その心鏡を打診すべく問題の官吏消費組合本部に岩田関の官吏消費組合本部に岩田の官吏消費組合本部に岩田の高の官吏消費を持ちている論難がある。

この

の分配所は既に始めて居

には開店した 二十二、三日

り館い頃

| 観し、日左の如く語つてゐる | 東京ニュースは美人村上条太 | こてゐるが満洲國人事處では | さる事質絕對になしと之を否

一日も早く健康恢復、羇滿正に際しても退官せしめず正に際しても退官せしめず

京

反消 満商工會議所代

新

議所に開催された

新規仕入品目を陳べて各家庭 下十二號室で開店する運び となつて居ります云云 信同組合では「日刊組合ニュース」を競行しその日 への

株式會社長春座取締役天野恒 湯浅長四郎、奥本和人、西山 正夫の三氏取締役に重任、支 配人に後藤藤作氏會社代表に 別人に後藤藤作氏會社代表に

新京材木商組合 理事異動

寒司令官、高柳、山内両中将 でを從へ滿鐵ブラスバンド演 を埋に入場、大で田中旅順姿 表裡に入場、大で田中旅順姿 表理に入場、大で田中旅順姿

宣傳線をはりまはしてゐるに洩れなく配附水も漏らさぬ

千名が式場に整列して午後二痕鮮やかないでたちの婦女三

質を申告して賞

節分のお化

くひつかけない、こりやどう たがどうも、元のやうに勢よ

●希望者は履歴書を要す至急來店あり度し

砂

賣

數參

集

名

名

丸髷が多からう

た躍でせらか、???ですな、誰しもが先づ想像するのな、誰しもが先づ想像するの

草蠍左工防石津骨官業水灰

素鐵材樂劑煉納板料品乾瓦

設鐵一面燥川 元材式料劑砂

福長公司

電話長六三九六番

新京大經路西四馬角

き場合は係員

来る四日は覆簷の元旦であり 節分である、この日節分のお 化けと稱へ、花柳界を中心に はれるが、事變後の満洲殊に 新京では、肝腎の稼業の方が 忙しいのでお化けの方はさび れる傾向であつたが、今年は

会を開催 スプーン競走、ペン喰ひ競 オープン五百米競走、各科 オープン五百米競走、を科 が成ポート競走、運搬競走、 等盤競走 で質品を授興、午後五幹終 で登録してある

れど、第一からだのためによ

ころはエチオピヤ、舞さんは

んですが、これその笑子

薄利多賣

お遊びは

會

神

年も俄づくりの奥機が多いかとらかしら、こゝ一二年は假どらかしら、こゝ一二年は假

病院處方眼鏡

数が省けるの

次で林支部長より各分會長に林満鐵總裁夫人に辭令を交付

この際至急申 はぬことにな 若し申告がな 際赤裸々に負 へば係員の手

狩を記念

メタル配布 対京鐵路局では昨年十月二十四日満洲國皇帝陛下の吉十四日満洲國皇帝陛下の吉中國を主義を主るため御下賜金で純銀記念メタル千二百個を謹製中であつたがこの程出來上つたので御召の電出來上つたので御召のを出來上つたので御召のをは、鉄路に、大多ル配布には、大多ル配布

所では昭和十年

直移見舞金一封を贈り破格官吏最初の敍勳に預り事件

の昇格、昇級を行つたのだ から斯の如きデマが傳はる

あらうといふ みの種となつ

係員も一苦勞で

さびれる

テンポの發展に

大連國防婦人會 昨日發會式

大日本國防

開催 式場は赤白の幔 された、此の日 された、此の日 された、此の日 會大連支部の發會式は一日午、を急いでゐた大日本國防婦人 南司令官も臨席盛大に

幽路局甲斐氏逝~



















相當教養のお 齢

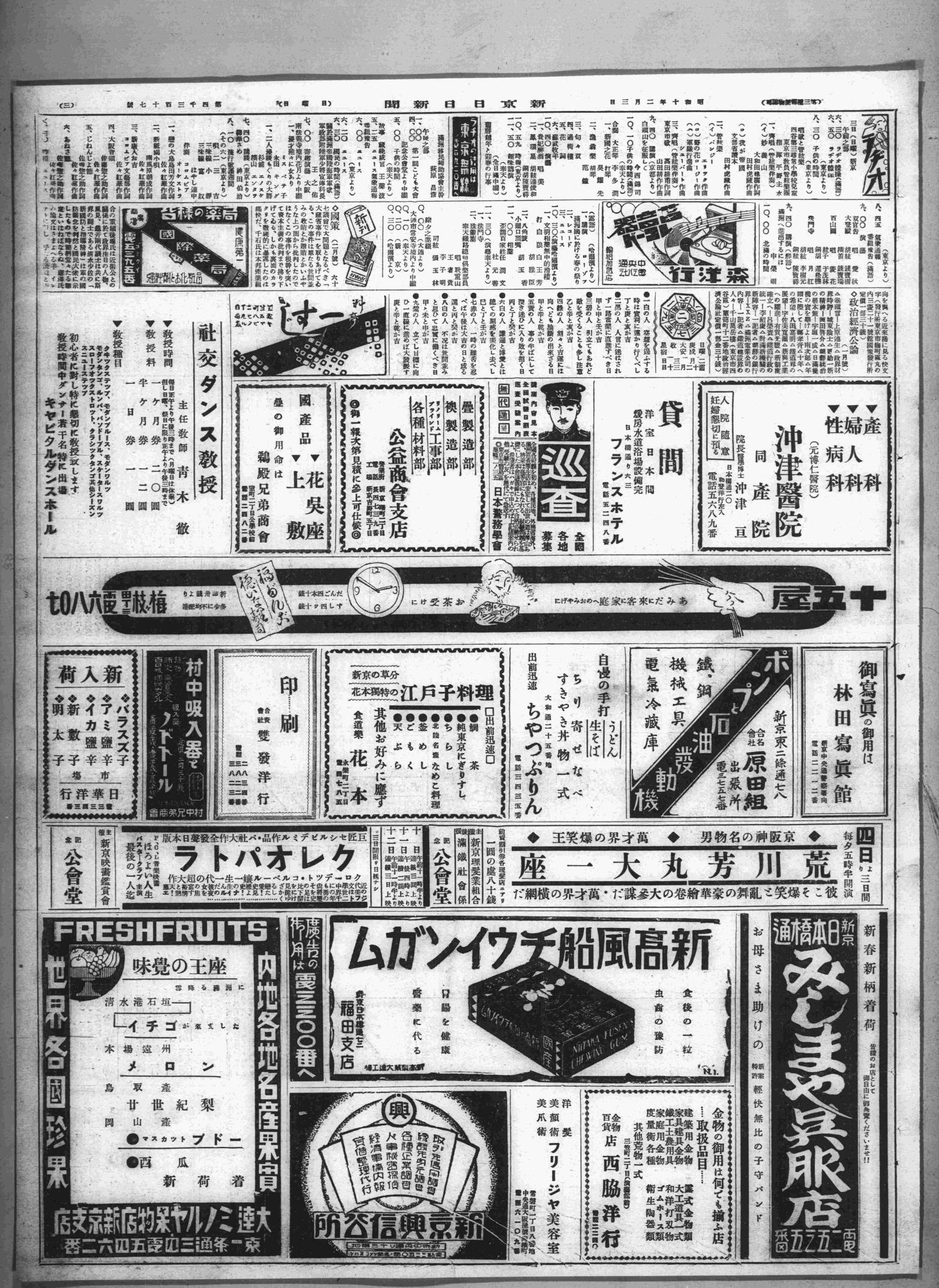
接客婦入用(三多)

新京 祝町 三十圓より五十圓まで 十七歳より廿一歳位まで

話六八五九番

三

んですけど、ちよつと考へまんですけど、ちよつと考へまれた酒をひかへやうくくとすると、皆さんきつと結婚準備



廣港灣 澤 渡 民

電話五四三六

四雪

フス米米米 新田同倫教 ・ナチ支日祭司銀銀物 ・オーリの経費を表現の ・大学の経費を表現の ・大学のでは、 ・大学のでは ・大学のでは ・大学のでは ・大学のでは ・大学のでは ・大学の ・大学の ・大学の ・大学の ・大学の

日常は水本沼を乗りたり屋町11

况

林とせ

弁道具の

成果は非常に期待されてゐる 成果は非常に期待されるので今回の 成果は非常に期待されるので今回の

出統制に全國軍一の金國軍一の

主面的統制確立のため商が関通し對中南米輸出貿

海外經濟

帝三圓三角五分と決定した | 大日までの産金買収價格は國 大日までの産金買収價格は國

新京射越屋

土建界冬枯期に入りたる爲 木材界も頗る開散にして氣 株例年に比し割合暖く降雪 も少き爲原木の出廻りも尚 早にして鶯市況は至極閑散 型に越月したり

11六八六九0 月11年 114-410

振元 實現近し 「承德國通」承徳市内に於ける現在の電盤の割合は一戸當 もこれに應ずべく準備を進め を受ける事となつたが、骨配 を受ける事となつたが、骨で 相には市内に設電の見込みで ある、右により現在の電盤數 三千七百六十個は一萬個に増 加される豫定である

上海和育向 至弗男分子 三弗男分子

簡易宏

佰泊所

城內東四馬路廿八

本公

の預金貸出残高を見れば大 の預金貸出残高を見れば大

子驛三、五三、0 1~118~11

人大六、五

况

滿直通有

線電話

を越すものと観測されてゐる を越すものと観測されてゐる を越する歌師を示し 建國以 を最も好き歌態に於て舊節期 をした。一般に經濟界は

(東京國通) 日葡通商暫定取 である 管である

陽堂療院

設岡一科大第

超軍

常

時

ある

まは

安奉間に無裝荷方式

六七 入入 〇〇 〇〇 銭銭 銭銭

位位 位位

限出來高左の如し

11-21-21 (本) 11-21-21 (x) 11-21 (x)

也也也の圓圓圓圓圓圓

葡通商取極

80

元弗二六分五

療院

流質品安賣

電氣光

総三三四一番(呼出) 鈴鹿サク

活力を 大田コキ子治療院 電話五五〇四番 野女員多数 至急参と上

葡側延長

を申込む

一种

八、四四三、〇 四、八七三、六 三、八一六、七

局前 月年

同時
 記書
 記書

新京金融經

3

とも 再び七圓合に反落し以落後稍持直し八圓台に上り

以

圖るに意見の一致を見た 米輸出組合を組織して統制を

後大保合裡に越月したり 金融市况

鮮銀行新京支店

調

元子 圓 ニペカの 限 出來高 平 均

日月十二月廿 八月十限 一月十限 三元

九一八三九四 些一六0

一般商況以上の如く大豆、一般商況以上の如く大豆、一般商況以上の如く大豆、活況に加へて當月は年末決済期に當り居る爲資金の移動活潑にして爲めに當地金動活潑にして爲めに當地金動活潑にして爲めに當地金人で金融市場も幾分引緊力たるも別段倒産者等をもしてもので、

(可認物便郵種三第) (四) で居りません為中央銀行も設立されて居りません為中央銀行も設立されて居りません為中央銀行自ら中央銀行の機能から言つては中央銀行の整備を行いのでありますが現成に於ては致方ないのでありますが現場に於ては致方ないのでありますが現場に於ては致方ないのでありますが現場に於ては致方ないのでありますが現場に於ては致方ないのでありますが現場に於ては致方ないのでありますが現場に対しまっては対します。 洲 行 銀 行 吉(土) を引下げ昨年五月一日更に之を引下げ昨年五月一日更に之を引下げ昨年五月一日更に之を引下げ昨年五月一日更に之を引下げ昨年五月一日更に之を引下げ昨年五月一日更に之 年四月 港 德元

上 月元 を行ひましても、普通銀行は 全然之によつて影響を受けず に依然高利率を維持し、中央 銀行は普通銀行から見ますと というで、是では中 銀の金融統制も本當には行は れません、普通銀行の營業繼 れません、普通銀行の營業繼 財政部も斯らした方面の指導機許可が一巡致しましたら、

に犠牲的に設置した支行が可 がますが其の中には異に選紙 りますが其の中には異に選紙 を持つて居

ります、尤も其の大部分は内 とに、外國為替でありまして、外國為 とは中央銀行の創立以來日尚 とに、外國為替取扱高は一昨年上期 五百四十五萬圓餘、下期六百 一十七餘圓に過ぎないのであります、即ち 十七餘圓に過ぎないのであります。 中央銀行以外の國內普通銀行 中央銀行以外の國內普通銀行 中央銀行以外の國內普通銀行 であります、別ち 六、玉七〇玉、七九」七九 六十二10年六八日五二三

1001 15-4

全銀兩首 定期取引所伸貫人 老銀三0八五番 老銀三0八五番 老銀三0八五番

大な中蔵以下の方と、大な中蔵以下の方を発展する。 一丁目五ノ二矢島の大用十七八歳以

通四十一番地 電四九六七番

求人求 職は

有護婦 至

既設電話月賦販賣電話 賣 買 金 融電話用達部電話用達部 家屋 地 介紹御宅住 舖店

併し中央銀行が斯うして利下 全然之によつて影響を受けず 全然之によつて影響を受けず

證券擔保

三經風五以上

三營運以上

詞以上

待ち銀ね

味のよ

澤音

特產資金

五。三厘三三豐厘以上

三三厘以上 完厘以上

成あります、斯ういふ支行は 成より収支相償はぬものであ まして中央銀行としては相當 の負擔でありますそれにも拘 い程度に純益を擧げつつあり い程度に純益を擧げつつあり

官吉官黑銀東三銀統計號

理管產動不

打つて一丸とする單一の中南 化、對中南米輸出統制の實行機 大野中南米輸出統制の實行機 対側にするかを眼目と として審議を進めた結果全國を

110月00日 1五、天公1八 二九00日00 二十九00日00

高價買して

一丁目のイヤ特) 純 金 高價買入 店質屋濱橫

タイ

ピスト

京工

北日

一天狗个 トを何ひませう 新京東四條通一三 新京東四條通一三 新京東四條通一三 一番 一十二番 一十二番 一十二番

は

十十十九七六四 四二一 日日日日日日日日

● 中 度 島 帝 港 (大阪)行 関 司、神戸(大阪)行 52 大阪商船出机

選 光疾風池田屋斬のために愛刀虎

子京 川絹●助之 々百川市蔵惠千岡片 上尾●助之誠林●郎三路川瀬蔵惠千岡片 一香木葛●郎三清林松●丈華 演 主 新 郎次傳內河大

QQ

ンビルハ

入北林秋街ヤカスイタキ番 三四六五話電

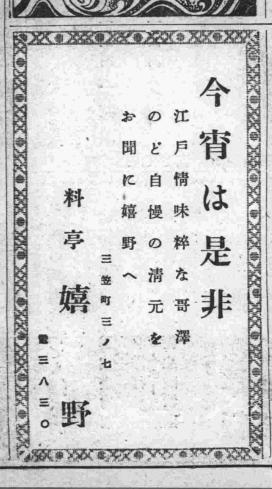
を押を賃たのを被脱不に二家が腹田惠 へ以不らみ壓支を當名のとたを一家 のつ納ずに迫配敢なを丸結め肥味老 重ての、飽す階行る籍修托費さは大 墜差故年きる級し婚り楽し本ん私和

新京き入 性病 內科皮膚痛災尿生殖器病 婦人科外科 油煮煮 留田 五三三番 推大湖



日本トランス 一トバイ 目轉車にオ 御用命 店約特 販 自轉車店 賣 店

地(東本願寺橫側)電三四二三書





0



オ 第 雅 星 岩城也 代新 カベ塗料カセイ 理京 店總 (容器一封度、 和 五封度繼人以 成 ンの特價提供 技町一丁目

京文 方 店 金銀行 は、大連、泰天 ・ 大連、泰天 ・ 大連、泰天 ・ 大連、泰天 瓦斯熔接、 随意 入院 東三 鐵工 條通六

新京永樂町三丁目 新京永樂町三丁目 並製 修 理

火造、

十番地

二工 新所

科目 或 療 花外內柳 都 病科科科 醫 肛門病科 兒

支店及出張所 横 積資立本 東京、丸之内、名古屋、水、布哇、リオデジャネンドリヤ、流質、カルカーラバヤ、バタビヤ、スマート海、青島、漢口、天津、哈爾賓 小大 金金 舍舍 学(正味十六貫入) 一樽金七圓六十銭 新京飛行場南端(電話二〇八八番) 一覧 12 宅 牧 場 のなる 宅宅話 横二六十二十 億圓全額拂込濟 實任を以つて推奬出來る!! 絕體不變色

本汽船 京 政府に注意を喚起すれば

見込としては島田氏は具体的になつて居る。而して政府のになつて居る。而して政府のになって居る。

の會見後岡田首相は左の如く

研究の上審議會へ

とし如何なる友邦に外交方針は信義和平

合作連繫を希望し

し國際間の暗澹たる形勢の 生したが政府は當に之が合 生したが政府は當に之が合 生したが政府は當に之が合

右の如き疑惑は幼稚

を以て臨んで居る

| **以生**| の努力を警言し 有無如何は今後の言動にかゝ るものとして注目されて居た ところ蔣介石氏は一日支那唯

村對策や商工對策に對して 一で研究して異れと迄は言は起業 であつた、そこで私は法案に を答べて置いた、安達總裁 を答べては、現在の政府の機調

蔣介石氏談話發表

掲載せしめた、南

蔣介石氏の第一門

認める、我國朝野も深く諒ては吾人はその誠意を具にては吾人はその誠意を具に

かあるが吾人が平生革命救むがあるとの説をなすものとの説をなすもの

日本も信義を以て相應じ

偲

べきものである

爲を慎め

道義の示す處に從ひ一時の意堂々の態度を以て理智と

るのだ、我全國同胞も又誠

會見の後首相語

3

語つた

安達總裁から國民同盟の農一

第六條 委員長前條の申込を 第七條 糧穀借受希望額の査定 かに糧穀借受希望額の査定 がに提出すべし をはるとするとするとするとき は 乗員を 押て ことを は 手員 長を 押て ことを は 手員 長を 押て ことを は 手員 長を 押て ことを は するとき は 手員 長を 押て ことを は するとき

な 受員長の命を受け會 で輔佐し委員長事故 さは之を代理す

會役員は名譽職と

役員の管掌事項左の管掌事項左の

首

相第六十五議會

地方委員會

中島侍從

共同提案を交渉

ず可き筋よりの消息によれば | 方策を齎らし、之を有吉公使 | 有するものであると | 長會長兼内務部長貰っ氏は一 けて行はれた將介石氏以下政 | 石、汪精術幽氏はじめ名要人員會長兼内務部長貰っ氏は一 けて行はれた將介石氏以下政 | 石、汪精術幽氏はじめ名要人員會長兼内務部長貰っ氏は一 けて行はれた將介石氏以下政 | 石、汪精術幽氏はじめ名要人員を表演し、

中生子 原則に立ち至誠 心を打開する事に於てのみ 兩國が光明坦々たる道を步 み得る事を顧念し、此の見 地から支那の過去の排日感 情と日本の激越な態度は共 情と日本の激越な態度は共

安達總裁の慫慂に首相難色

一時の衝動に依る

出さないなら出さないとは のきり態度を決して、地方 りはではならぬ、我々は總費 等に隣し如何なる點を考慮 ければならぬ、我々は總費 ければならぬ、我々は總費 すると言ふことを決定しな ければならぬ、我々は總費 はならぬ、我々は總費 はならぬ、我々は總費 はならぬ、我々は總費

頁八共刊夕紙本

中國人工水越內之介 中國人工水越內之介 中國人工水越內之介

令吉川商會

草委員會

ごで 板

帮甲板

に直ちに實施するものがあれば審議會にか

案を見て

で研究した上の事だの場だ

附で公布した

往 來

果然!島田君起つ 關

日の衆議員豫算總會

島田氏の質問に

あてゐる と信ずる と信ずる と信ずる と信ずる と信ずる と信ずる と言つたので 今後政府が改めて委員長の 七分政府政友の緊張したる。 さんと質を刺し斯くて零時結果今後の實情に即して適 事は政府の發言であるから べしと釘を刺し斯くて零時に於て災害對策費の審議の 島田君 首相の述べられたる と政府に對して改めて答辯

政府側は既定方針で進む肚

長より注意を促して貰ひ度 中に對し委員

經濟機構は根底より動かされ

雨かまた風か緊張を孕む

ならんとして此點に就き目下を臨時休業せしめる方が得策 取引場取締委員會では 場統制の個に當つて居る證券 日には全國の株式取引収締委員會では判決富

背腦部の意向を体し

月吉公使等に會見

事項に亘つて詳細なる質問を 宮研究することとし政友會の事項に亘つて詳細なる質問を 宮研究することとし政友會の を目睫に控へて著しく緊張の実践を重ねて居ると傳へられ

を控へ会約款判決

が同判決の如何に依つてルーる大審院の判決は酸々來る四日に下される事と強想される 度の下に再建されたアメリ ズヴェルト大統領の新通貨制 米財界緊張す 財政部地畝處

一官制を制定公布した

に重大なるを思はしめるもの る事」なり其影響は豫想以上

するにアメリカ全國の證券市があるが信ずべき筋より確開

經濟的援助懇請

電二九一三番

四日に延期さる

めることとなつた 「東京國通」北鐵讓被協定文起享委員會第二回會 「東京國通」北鐵讓被協定文起享委員會第二回會

| 別 | 別 | ・

其ノ鮑右ニ關聯スル業務一般引越、荷造

海陸運送取扱、

勞力請負、倉庫、金機、運送火災保險代理、委託販資、市內湾

國際運輸離新京支店

案內

北瀬特別區公署官制中改正

▲小川茂一氏(ハルビン會料 員)一日午後工時着ハルビ 今井源良氏天妻(辯護士) 一日午後九時着釜山から大 和ホテル投宿

五〇一八 五〇一七 五〇一六

運海經金倉保庶店長

他其所扱荷內構闢

昨年十二月末現在の中銀貨幣發行高 安田善四郎

舊年末現在

九八六

循環清淨機設置

安キへハ

全・優美・迅ックリーニン

新京视町新

一是 非 弊 店 へ

7 17 ムビアレ 7 東

150 通 六 Ξ

新京よ

この申告書なるものはまた以 で怪しい▼といつて申告書か 別はかなく、これはまたなは 更に危険性が多いと見なけれ ばならない▼そこで結局各人 の申告を基本にすること」な るが、余り出鱈目な申告をす ると係員を手古摺らすはおろ せぬとも限らぬ▼納税は大義 あ、、余り出鱈目な申告を打水 が、却つて籔蛇の結果を招來 つて來た、公費收入にも影も激増すれば諸種の事情も 1事無論のことだが▼一 今年も年度替りが 今年も年度替りが 分年も年度替りが 所公費係が例によ つて戸敷割の賦課 調べに大童だ▼何 調べに大童だ▼何 日本一の 一粒三百メートルの英個 美味 ツほ大な子で番ばり プロ 日本 といって のかといい 可な銀ぎら 商なお はっこう お エネ ニー ました・・・・・ 栗 *

ること

第一條 本會は某際備荒委員 會(以下單に緊委員會を稱 策一條 本會は某際備荒委員 第八條 本會は糧穀借受及返

香及貸付事務に闘を借受申込に對する 大委員會指令の傳

員會は左の事項を

双政治 詰制度 方座

社さ連絡

會

救済はもとより大切である

必要としたのであるが鐵路で鐵路總局、滿鐵の多大な銅費助で鐵路總局は全部無質、滿 がりこれだけ又多くの糧穀 かりこれだけ又多くの糧穀 かりこれだけ又多くの糧穀

こととなってゐる質付け西納して將來の災害に備へる した糊獄は各縣の義倉に称

政策合理化

をおそれ極秘裡に

施米で

はな

貸付け

である

岡本總務科長語る

(=

拟はれる窮民階級 回穀物配給

裏日本館籍に依る日滿連絡の 知く曹級なる協定を保つ以外 に敦質・新潟・伏木等諸池灣の に敦質・新潟・伏木等諸池灣の ウランガ

受 「ハルハー日 強関 通大 竹特派 で 画に附近一帶の掃 幕に 音手し 直に附近一帶の掃 幕に 音手し 世 の下に 卅一日 正中 過に 至りチャ 回し 附近一帶に外 豪兵の 影を 電 いった、 卅一日 正中 過に 至りチャ 回し 附近一帶に外 豪兵の 影を 電 は 日 重 地 護 に 音 手 し 世 で の 確保を 完成した 土權を確保

では、「ハハ駒一日登園道大竹特」 宣により連絡統制する事派員)、ハハ駒一日登園道大竹特」 宣により連絡統制する事が最大の一直変内をつとめたラマ倒はじいの如く施設せんとするものない。 第4年 東をしてある日満聯合部隊の「ハイラル財産を呈してある日満聯合部隊の「ハイラル財産を呈してある日満聯合部隊の「ハイラル財産を呈してある日満聯合部隊の「ハイラル財産を呈してある日満聯合部隊の「ハイラル財産を開発の対く見る影響を呈してある日満聯合部隊の「ハイラル財産を開発の対した。 「「「「中で、ハハの土を踏まれる」」と 「「「中で、ハハの土を踏まれる」と 「「「中で、ハハの土を踏まれる」と 「「「中で、ハハの土を踏まれる」と 「「「「中で、ハハ駒一日登園道大竹特」 「「「中で、ハハ駒一日登園道大竹特」 「「「「中で、)」と 「「「「中で、)」と 「「「中で、)」と 「「「「中で、)」と 「「「「中で、)」と 「「「中で、)」と 「「「「中で、)」と 「「「中で、)」と 「「「「中で、)」と 「「「「中で、)」と 「「「「中で、)」と 「「「「中で、)」と 「「「「中で、)」と 「「「「中で、)」と 「「「「中で、)」と 「「「中で、)」と 「「「中で、)」と 「「「「中で、」」と 「「「「中で、」」と 「「「「「」」と 「「「」」と 「「「」」と 「「」」と 「」」と 「「」」と 「「」」と 「」」と 「」」と

は にハイラル関通」ハイラル駐 も にハイラル関通」ハイラル駐 も では厳寒に入り病氣に惱み が

は、東京國通」政友會では首脳 と要求すべく發言する時期及 を要求すべく發言する時期及 を要求すべく發言する時期及 を要求すべく發言する時期及 を要求すべく發言する時期及 金融合作社員數昨年末現在の全國金融合作社員数は一萬五千三百七人、貸付金額百七十四萬六千六百二十四國、預金四十五萬六千六百三十圓五十七銭に達し成

者に勢しく感覚してゐる者に勢し「臨時を開始」が此の皇軍の篤き惠澤に母 前田島田東三氏 だき恵澤に受診

民崇拜の

ルハ廟今や廢墟

蒙民極度に興奮

會で政府に向つて重大なる愛言を貫す事に決定した、此發言に對する政府の答辯如何は政府、政友會の關係を決定せしの解散か否かを決する鍵として注目されて居る

商業登記

昨年末現在

豫算總會

一減洲電氣株式會社經更 大連市伏見町 大連市伏見町 大連市伏見町 大連市伏見町 大連市伏見町 大連市伏見町 大連市伏見町 大連市伏見町

選 范家屯附屬地南大一番地 新京三笠町二丁田地

知

雷本光治 雷本光治 新京城内西四道街

化しつへあ 現在に於く又通 に非ずと云 なる軍事上

し此の問

要は大四三日

・ 警察問題に急轉れ が如く軍要

清朝時代から

服 [電話開通] 科 大和通六六四六番 殿

米 木 ニ 各各 龜甲萬醬油 種地洋銘 向 我京東二條通二條橋北部 五 四 六 三 番 陽 公

英國產業 日滿視察團報告書 聯盟 (\pm)

治安の恢復 高層に直面せる最も困難なる は関係の一つは國内に跳楽した

は間は存在せり吾々とは著しく縮少せら

り爾來法制の健全化は進捗

へば鐵道幹線及

し全幅の信頼を寄せ得るに至 に際り外國人が地方法院に對 禁に屬するが如き事件の審判

各列車は夜間運轉

等段を講ずる上に於て一層の を現代的要求に適應せしむる を現代的要求に適應せしむる

满聯合委員會

日新京郵便局で開催さる

には時日を要するに鑑み吾々職に何れの國にも直面せる継

は滿洲國の法制改革に

批議するは公平ならずと思

題に直面し且つ法制の改革は又滿州國政府は幾多の緊急問

ろに依れば

匪行

二、三年間は面問題は將來尚ほ

ばなる程之

介なる存在 に於ては師

は或地方には厄

最早危險性

大深醫

R宛

系に拘らず實務地域上の便 る為防疫事務は一般行政体 五、以上の施設の完整を期す の傳播を防止する事

ー、防疫處置を迅速ならしむ ・ なるト恒久施設勢策楽 の現狀に鑑み左の五項目の實依で根本對策とし病毒潜在地 員】司令部發表ーベルハハルへ関一日發國通大竹 警備司令官 蒙軍に勸告文手交

年に夏る四鴻沿線のベスト九二七年(昭和二年)同二

官は即刻外蒙に對したの如き 行して同地點の奪回(卅一日 年前八時)なるや我警備司令 中前八時)なるや我警備司令 が特 動告文を手交した ・ 満州軍はベルへ河以南に ・ 満州軍はベルへ河以南に ・ 満州軍はベルへ河以南に ・ 満州軍はベルへ河以南に

闘し某機闘は語る

ーハイラル國通 | 國境問題に

が國境線

ハルハ河

曜

門する事を許さるる等実他種 都 官たる總督政は巡撫は特別秘 で、書項なき限りこの内閣を經 が、上置帝に捧呈す、若し皇帝よ り御下間あらば其れを審議の が、上置見を附し弊呈し皇帝よ の意見を参考に更に獨自の見 解に依り裁決をなし或は命令 を發せらる、内閣は其れを審議の 定の手観を経て地方長官に愛 、 薬線二年一月卅一日 薬線二年一月卅一日 薬線二年一月卅一日

蘭領印度から

なるが這

運用

ツル」武勇と云ふ意味にして 職り授けられ、米國人のメス ニーと云ふ人が貴州に於て軍 現り授けられ、米國人のメス この得號を授けられたりとの 北の得號を授けられたりとの

要員制に組織せられ定員なく を負制に組織せられ定員なく を負制に組織せられ定員なく を負制に組織せられ定員なく を対力なれども其後雅正年に をかりたれども其後雅正年に をかりたれども其後雅正年に をかりたれども其後雅正年に が、別に一個の「軍機 地の内閣は漸次整置したるより はある機を分

為替交換要 請

日本を媒介者こして

明電三三〇〇世

京梅ヶ枝町四丁目二十八 范家屯南大通十六番 事件單位 理 新 賞 次 受 領 帝國 遊 罗 語音 有 功 賞 受 領 音 全 牌 乏 領 蒙各界御指定御採用





八十八萬二千圓 第五十六回同金十多萬七千 圓 第五十六回同金十多萬七千 圓 第六十三回第九十九叫社 情戀額ヶ內一部價遠三因, 明和九年十二月二十七日其 明和九年十二月二十七日其 明九年十二月二十七日其 明九十九四同金三十八萬八 千圓 肇牢 優美一 確實なる修理安全に 說町二丁目太子堂橫 輕快一 同 日本標通りに支店を 皆採御便宜の寫 和 會支店 電話六五六二番 第四六三〇四番

冬が去つてやらやく春がやつ を耳にすると、暗い永いく を取られると、暗い永いく

意味で起つたかーとその傳

ンですー「胴な と家々からひょ

芝居の倉詞にもある

三九、九〇六八十〇六八十〇六

消組問題その他は

さらに研究する

全満聯合會提出議案附議の

ع *>

りの議案について意見を交換

院議員選擧權被選舉權を

消費組合問題その他につ

が四組、二

叮寧千

-

取寄せ

試験したが成績は頗る

二日新京放設局から見本を対にき及すべ

し自殺・

してはちご頭

がよ過る

滿鐵對京中

ホッケー

京中敗る

昨日の地方委員會

年十二月末現在、國都建ゆく國都新京の全貌ー康

正確なる統計なし)附屬地三二十七人(軍験を除く)で奠れ直前の城内商埠地約九萬(以上人口計二十一萬六千五百以上人口計二十一萬六千五百以上人口計二十一萬六千五百

結婚式の洪

新京神社

神樣

家

たんぢゃな

40

かご仰言る

後出席委員一同は武田地事所ととになつた、なほ會議終了 長祉宅における同所長の招宴

國都建設局の調査

故松阪上尉の

表る廿三日濱江省濱江縣下の 地頭で名譽の戦死を遂げた滿 歩兵上尉松阪勘七郎氏の遺骨 か兵上尉松阪勘七郎氏の遺骨 の遺骨 の現代を変けた滿 がある。 がある。 ののでも の

馬

車を夫

電氣のない僻地にも完全に聽起好であつたので文教部では

は電話で間か合となる。

「電話で間から、

「大阪殿を開始には本年を開始には本年を開始には本年ので新切る。」

「日で新切る。」 遺失 屆出

者候響政(四一)は去月三十郡無用馬車人力車營業組合員都乗用馬車人力車營業組合員 組合から表彰 日は饗住へ羽新 午瀬長所二衣郎

垣 內氏寄附

時間の出入客

か

司

五百乃至六百

雄 開する新京驛の構内

堂之順し

で支陽口を 大旅客、爰迎人が増加したの 大旅客、爰迎人が増加したの

泉酸はとで夫人及び五名 に居建つてゐたが三日正 に居建つてゐたが三日正 族出發長

出入 する者が一日中 るかを調べるため二日午前九 時半から一名の係員をして幾名あ 一時半まで一時間に五百六十 一大名、十時半から十一時三十 分まで五百九十五名、これで みると一時間五百乃至六百の 関リンクで開催京中巻闘の甲 地域を交へた満緩軍のメンバー は左の如し は左の如し 場)堀村(西廣場)地所(西廣場) 郷井(鎌)西村(西廣場) 地所(西廣場) 東井(鎌)西村(西廣場) 北川(地 地 で (京商)

部

公示催告

1月 など一時に二、三列車が發着する時刻は一時間平均六百五十を突破するも 正午頃までは京岡線第二百二 正午頃までは京岡線第二百二 列車、はとの設備、午後三時 外車、はとの設備、午後三時 から四時までは北鐵南部線の 第三列車、三時十分の京岡線 慶大アイス ホッケー

一)は中島菊平氏の媒的で 一月三日正午學式 東二條通井田正一氏(二九) 新婦本籍奈良縣現住所新京 東二條通井田正一氏(二九) 新婦本籍奈良縣現住所新京 「二四)は岡田小太郎氏の (二四)は岡田小太郎氏の (二四)は岡田小太郎氏の

日午後三時睪式、水大震温朝香穰(二三)は水大震温朝香穰(二三)は、水大震温朝香穰(二三)は、水大震温朝香穰(二三)は、水大震災を表現した。

の子が京に

奥地各所に

ラヂオを

普及

文教部の新計畫

今秋歐洲遠征

倉荷證券第九三一號

ホッケー

▲三等待合所内男用襟卷一個 中折帽一個 中折帽一個 ・ 1年中前八崎:五十分着列車 → 1年中前八崎:五十分着列車

ウインタースポーツの華、アイスホッケー、リーグ戦の震
選大會は三日午前十時より西
公園リンクに於て機されるが、
はあテームは満鎌、京商、治

消息

お散策の赤帰には神社が基準面公園

本柳田國彦氏(鹿兒島縣)大連から錦町三丁目第三錦ピル五十六號室へル五十六號室へ 原三十二號室へ 寮三十二號室へ 寮三十二號室へ

りながら助けてくれと悲鳴を を一文字にかき切り朱に染ま を一文字にかき切り朱に染ま 本

分の夜には歳男を連れて來て 皆で胴揚げすることが大びら に許されてゐたそうです、で すから大奥の節分の夜はそれ たものらしいんです。さて節と選らなことを云ひあつてゐ は一日午後三時より西公満鐵對京中のアイスホッ 連から山吹町二丁目四番地東が将一郎氏へ東京府)大 □丁目四番地へ ビンから老松町三丁目一番鷲崎研太氏(佐賀縣)ハル 町二丁目二十六番地井手方溝口清線氏へ佐賀縣)吉野 居

A

なんぞもゐて、目も眩ばゆきに彼女等にとつて節分は一つ の長藤年こしであつたらうと思ひます節分に関してはいろ えだの梅はそへ 本田野氏(水島頭の二十一) 一十三號)長女夢智子さん出 十三號)長女夢智子さん出 十三號)長女夢智子さん出 地・五男務さん二十子之松氏(東四條通

が出来なかつた、全くの女職 他川の大奥の女中といふもの

大奥の節分

ずや終らり

江戶城

五り

康

0

栗

内を飾る

家庭百貨陳列

●御家庭用品部

御 様 及 御家庭 必要品 を 物 を かり ト 本 箱

山本 4

解雇廣告

「入院隨意」 院長 電話五七〇九番朝鮮人普通學校ノ西隣

內科 小兒科

一枚宛無代進星致します(薬豊野以上) 書 正 月 十 六 日 迄 新京寫真館

完 器 春 (意 隨 院 外

石者當店の一員として活動中なりしも其間不都合の行為多々有之候為多大なる迷惑を蒙り候間昭和十年一月三十一日 通而從來當店名義を利用し同人獨自の契約に基く損害等に聞しては當店として一 通而從來當店名義を利用し同人獨自の契約に基く損害等に聞しては當店として一 の責任無之為含申添候也 新京朝日通電話五七九四番 謹 現住所・新京三笠町四丁目堀アパートー原・籍 岡山縣 阿哲郡 草間 右足 告

勉(三十五歲)

てい、その地を立ちのくといふのとはりでございます。そ

「心配無用、お父さんの手から、ど

ちおおこる代に乳田

二三戦を離ましたから、それんと 「任う、それは戦しい」 「任う、それは戦しい」

な野々和間の側にねずとも、あな「遠慮は要りません。それほどは

たの家へ聞れるのだから、

お月は、感動して

はらわた見たいに膨れ磁や漁場などので速ができると消化器内臓が天変に気がです。

る事になり勝ちです。

足りないので、

・特職がととでざざいます」

たいれた骨臓に生ずる衝撃の影響に生ずる衝撃の影響

혼供試

學研究所

御申込は

半

日).

矅

れも仕方がありませ

別といふものがある。私が僧侶だ

大部分アスピリン類の主題品だと 切合路のでは、気がふさいでボンヤリした になる重要薬と して合いまで用ひて来た関係薬が はいいのが、気がいさいでボンヤリした に

連用すると胃腸か糜れ

頭腦まで惡くする危險

きれ

(日

んが、透透を二三軒焼きましたのうで、との透の習慣として、自分のうで、との透の習慣として、自分のうなから次を出して透所を焼けば、まかたとろもありますね、「慎火律」できたとの形めから、さういふだ。まからたとの形めから、さういふだ。まかがあるのでせう」

た。 さいできる。 そんなことはなかつたら、 そんなことはなかったら ましいやうではあるが、 私のこれの 草袋の 中には、 千 歌ほどの 金が して はっちゃら 出た 資本 金だと 云って、 おきましたが、 今が今と云って、 おきましたが、 今が今と云って、 おきましたが、 今が今と云って、 おきましたが、 かが今と云って して がら と云った ひがくとん つ なば しょう は かん とばなから、 この 内に しょう は かん は かん とばなかったら

つ挙家大科兒小

作用がありますからなるほど一時間はすつきりし報みも遊のくでせいが被当すると脱で押したように 嫌なすると脱で押したように

はいよ事をご存じですか。ピリン系 要品――即ちアスピリンやアソテ で用がありますからなるほど一を 作品がありますからなるほどーを では熟さましと脳神經療庫

胃腸を強くする

新頭痛疲勞恢復劑

「は、あ、お問さんだから門線で と云つて十九談に成ります」 と云つて十九談に成ります」

野が花(四) 婆羅門 正 田 世

志秀

が知の通り、麓の犬居宿といふ」 もかも御存知の上からは、けつ をでございますが、焼砂になるよりはマシであらうと、この等に引きいませんでも、ないますが、焼砂になるよどの通り種兒袋となりました。でも、ないのでは、世間を関うまして。これになってあるのでよいます」 お号は、また、ぼうつと脳を締さんの脳のお伽を……」

「丁度去年の冬のこと、私の家の い方を、慰みものにするなんて、「丁度去年の冬のこと、私の家の い方を、慰みものにするなんて、原年だな」 ことだ。あなたのやうなつゝましに年だな」 が 推動なさつて下さいませ でいます! ざいます。どうぞ、透聞先生、脚くどうがマシとおもふことも、度々ど いまでは娼妓になったほ

コルミイラト

標準約乳

園碁界の俊髦

吳淸源先生は

頭腦の攝生に就て

斯ら申されます

精魂が强まつて行く

ります。甚だしい場合には精神が混亂と非常な疲れをおほえることが度々あと非常な疲れをおほえることが度々あります。 言葉を替へて云へば落ちつきを失つてしても食心の一石が打ち込めない―― 私はまだ君年のせいか頭痛とか して此處ぞといふ大事の瀬戸 際にどう 眩暈

大きない。

心境が離れる。これが一番の打撃です。だから新聞で頭腦疲勞の恢復なつた響です。これを一服のんで製局すると不思議な程心氣が澄みまつて冷悸に戦が進められます。そうして相當長時間製局が延びても疲ががな良利が發明されたのは、只程達に限りない便利を興へて吳れながな良利が發明されたのは、只程達に限りない便利を興へて吳れるばかりでなく、日頃頭を使ふ頭腦勞働者全般にとつて此上ない有意義な發明だと思ひます。

持葉として蓋じこれ程の適葉はないだらうと思ふのであります。灯を持つ譯ではありませんが、頭をよけい使ふサラリーマンや學生の版んで見た結果を書けと乞はれるまゝに描文を認めただけで敢て提派していまりして來る道理でそれに胃腸に障らないのが何よりです。

誤れる頭痛薬の慘害

路三四六九省 房

和事文月 刊雜誌 務用品

数京吉野町銀座街 電話二三二一番



取扱 懇切の

時間の一般で表現である。

「一般で表現である。

「一般で表現のである。

「一般で表現のである。

「一般で表現のである。

「一般で表現のである。

「一般で表現ので、一般では、一般で表現のでは、

「一般で表現ので、一般では、

「一般で表現ので、

「一般で、

「一般では、

「は、

「は、

「は、

「は、

」では、

、のには、

、のに 我野酒店新京支店

一井茶園製

新春着尺新荷着 ふさん……わた類は

是非御用命を……!! 及篠 田 商店

···(●)··· 屋問卸

定評ある篠田へ!

福田支店

廣告 0 御用 命 11

電話三三〇〇番へ

0

特約店

支本 店店 話畏二九八〇番

切に御愛用を乞ふ世界的高級タバコ

贅言 せ

Castles" Cigarette

0